

平成20年度 支笏洞爺ニセコルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 支笏洞爺二セコルート		報告者: 支笏洞爺二セコルート代表 泉谷 清						報告年月: 2009/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
景観づくり	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討	1	ルックルック調査隊	えにわ シーニックプロジェク ト	平成20年度	延べ 170名		おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
				道と川の駅「花ロード えにわ」パネル展示	えにわ シーニックプロジェク ト	平成19年度			
		エリアマップの作成		ウエルカム北海道エ リア裏街道53次	えにわシーニックプロジェク ト 社団法人 千歳青年会議所 支笏洞爺まちづくり機構NEOス テージ	平成19年度	10名		
	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	眺望ポイントの調査		実施せず	—	—	—		
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	2	共和町神仙沼周辺 パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	平成20年6月24日、 平成20年10月2日	[6月]12名 [10月]7名		
		花と緑の植栽	3	綺麗街道沿道植栽	NPO法人ニセコマちづくり フォーラム	平成20年6月(2回)	120名		
			4	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	平成20年6月1日	100名		
			★5	花いっぱいサミットお出 迎えプロジェクト(喜茂別 町・留寿都村連携)	NPO法人きもべつWAO、 るすつWAO他	平成20年6月1日	150名		
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去		幸蹄山麓広域景観づくりと 協働で検討	エリア全体	継続検討中	—		
		フォトコンテスト	6	きもべつフォトコンテスト '08	NPO法人きもべつWAO	平成20年7月1日～平 成20年8月31日			
	果樹園などの田園景観を整える	くだもの村の統一看板の設置		実施済み	—	—	—		シーニックバイウェイ北海道洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。そして活動を継続することで少しずつ取組の幅も広がってきている。また比較的行政機関との連携も積極的に図られている。今後も継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能の強化等が必要である。
		馬の歩く道景観づくり	7	ホーストレッキング	大滝レンジャーズ	平成20年度	—		
		花和地区の花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	—	—		
		よごさん(453)キャンペーンの実施	8	国道よごさん(453)キャン ペーンの実施	国道よごさんキャンペーン 実行委員会	平成20年9月6日	100名	S-3	
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	花による沿道の演出	9	沿道美化活動	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光協 会他	平成20年度	30名		
		みどりのマイルストーン(道標)の整備		* 植栽・清掃活動が 主な活動となり、道標 についての取り組み は行われなかった。	えにわ シーニックプロジェク ト				おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
		ウエルカムゲートの整備促進	10	恵庭岳公園線植える カム花ロード	えにわ シーニックプロジェク ト	平成20年5月31日 (土)	150名		
			11	ここからはじまる北海 道 千歳ウエルカム花 ロードver.6	社団法人 千歳青年会議所	春の植栽 平成20年5月20日 (火)			
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	12	えにわいいとこどり紅 葉バスツアーによる 植樹体験	えにわ シーニックプロジェク ト	平成20年10月11日 (土)	45名		

尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	13	尻別川周辺清掃(草刈等)	京極町景観を考える会	平成20年4月～10月 (※毎月1～2回程度)	延べ70名程度 (各10名程度)		景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、善意で手伝ってくれる人が増えている。また比較的行政機関との連携も積極的に図られている。今後も継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局の強化等が必要である。
	河川景観の保全と河畔林の創出	14	尻別川クリーン作戦	NPO法人しりべつリバーネット、蘭越町	平成20年6月21日	300名		
	散策路・フットパスの整備	15	フットパスの集いin蘭越	NPO法人しりべつリバーネット	平成20年10月5日	40名		
エリアの景観ルールづくり 看板や広告物の規制の検討 看板やノボリの撤去			羊蹄山麓広域景観づくりにて検討	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会	継続検討中	—		「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」にて4つの検討部会を中心にそれぞれの情報共有・情報交換等が行われている。
			※恵庭市で計画中の景観計画事業に参加	えにわシーニックプロジェクト	平成18年度			おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
			「洞爺湖エリア景観マスタープラン」の作成に向けた検討	洞爺湖エリア代表者会議	継続検討中	24名		シーニックハイウェイ北海道洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。そして活動を継続することで少しずつ取組の幅も広がってきている。また比較的行政機関との連携も積極的に図られている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能の強化等が必要である。
洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究	16	洞爺湖エリア代表者会議による検討	洞爺湖エリア代表者会議	平成20年度	10名		
	サクラの植栽	17	「MOVE 洞爺湖 2008」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワークほか	平成20年4月29日	300名		シーニックハイウェイ北海道洞爺湖エリアにおいては、地域活動団体を中心として沿道景観づくりの検討が進められており、景観美化活動として植栽や清掃活動など、さまざまな取り組みが行われている。そして活動を継続することで少しずつ取組の幅も広がってきている。また比較的行政機関との連携も積極的に図られている。今後は継続に向けて各種広報媒体を活用した活動紹介・周知や活動周知に向けた行政への働きかけ、事務局機能の強化等が必要である。
	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理							
	花と緑(紅葉する樹木)の植栽	18	『シーニック花壇の整備(駐車帯の緑化活動)』	洞爺にぎわいネットワーク 洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	20名		
温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉の花・プランター整備	19	西山火口周辺の花壇整備	洞爺にぎわいネットワーク	平成20年度	20名		
	湯煙のあるまちづくりの推進		スタンブラリー・洞爺湖温泉手湯物語Ⅱ	洞爺湖温泉観光協会	継続実施中	—		
	温泉街のサインの統一		実施済み	—	—	—		
北海道らしい清らかな水を印象づけるまちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制		支笏湖の湖面利用に関する規制の検討	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			
	水辺の眺望ポイントの整理		ウエルカム北海道エリア裏街道53次で水辺を巡るルート設定を検討	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成19年度			おもてなしの心を持って、清掃活動や沿道を彩る花植え活動などを行い、地域住民や行政組織などと連携を図りながらエリアの景観づくりに取り組んだ。特に小学生との沿道における花植え活動では、植栽作業だけではなく、次年度につながる管理作業も実施できた。今後は、現在の活動を継続し、エリアの特徴を活かして様々な切り口からエリア景観の向上を目指していく。
	河川や湖面、沿道の清掃(※清掃活動の推進)	20	453(ゴザン)530(コミセロ)キャンペーンin支笏湖	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成20年5月30日(水)、 9月30日(火)	90名 70名		
		21	えにわ湖慈しみフェスタへ協力団体として参画	えにわシーニックプロジェクト	平成20年7月26日(土)	全体 200名		

地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催		実施せず	—	—	—		後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
		音楽コンサートの開催	22	きもべつ高校バンドヘル演奏会	NPO法人きもべつWAO	平成20年12月13日	30名		
		地域資源の発掘・活用	★23	雪だるまの活用(夏期外国人観光客ウエルカムイベント)	らんこしWAO、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会 他	平成20年8月17日、20日	約1,000名(延べ来場者)		
	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成		支笏湖周辺マップ(グリーンマップ、地域情報マップ)	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成19年度			地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
		旧ユースホステルの保全・活用				平成19年度			
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘		裏街道53次	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成19年度			
	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催	24	エリア代表者会議及び景観分科会等による検討	エリア全体	平成20年度	—		各種イベントの下支えなど、地域の頑張り連携することで補完することができている。また活動の継続に向けては、地域の方々が行政機関も含めて「語り合う場」がこれまで以上に必要である。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
		地域資源マップの作成	25	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	—		
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進	26	各自治体での清掃活動	ニセコ羊蹄エリア全域	平成20年度	延べ500名程度(各50～70名)		後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討	27	「恵み野花マップ」の制作による地域ブランドのPR	えにわシーニックプロジェクト	平成20年度(春季)			地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
				支笏湖のヒメマスの活用	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度			
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作		商品製作					
		コミュニティビジネス研究	12	えにわいいとこどり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成20年10月11日(土)	45名		
				支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成17～19年度8～10月			
			28	ガーデニングを観光資源とするコミュニティビジネス研究	えにわシーニックプロジェクト	平成20年6月28日(土)～29日(日)	251名		
	地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	29	活力ある地域づくり講演会	NPO法人しりべつバーネット	平成20年9月8日	50名		後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
	エリアの人材育成	地元の学校と連携した活動の推進	30	地元の学校と連携した活動の推進	ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人そうべつ観光協会	平成20年度	—		各種イベントの下支えなど、地域の頑張り連携することで補完することができている。また活動の継続に向けては、地域の方々が行政機関も含めて「語り合う場」がこれまで以上に必要である。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
		エリア人材登録制度の検討	31	洞爺湖有珠火山マイスター養成講座の実施	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会	平成20年11月8日	24名		
		タウンミーティング・シーニック塾の開催	★32	「洞爺湖有珠山ジオパーク」フォーラムの開催	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会・胆振支庁	平成21年3月12日	130名		

交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進・活動参加のしくみづくり	33	えにわシーニックナイト(全国あかりサミットと共催)	えにわシーニックプロジェクト	平成21年2月7日(土)	3000人		地域の魅力ポイントをめぐるバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけに、地域資源の発掘やその有効活用についての検討を深めている。今後は、エリアや地域(住民や行政、企業など)との交流を深め、協力関係を築きながら、地域資源の活用方法やその仕組みを具体化していく。
	各研修会などの開催		支笏湖だいがく塾	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年6月11日(月)			
	タウンミーティングの開催		各種会議等の開催	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度			
	Co2削減		支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17～19年度 8～10月			
	自然環境学習・教育プログラム		ここからはじまる北海道 千歳ウェルカム花ロードver.5	社団法人 千歳青年会議所	平成19年度 春の植栽:5月25日(木) 秋の彩り:9月20日(水)～22日(金) 花苗の越冬チャレンジ 11月30日(金)			
エリアの産業の活性化	コミュニティビジネスの研究	8	国道よごさん(453)キャンペーンのでの試行的実施	国道よごさんキャンペーン実行委員会	平成20年9月6日	32名		各種イベントの下支えなど、地域の頑張りを連携することで補完することができている。また活動の継続に向けては、地域の方々が行政機関も含めて「語り合う場」がこれまで以上に必要である。後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
	地産地消の推進	34	シーニックカフェや活動団体が経営する飲食店での地産地消メニューの提供	ゆったりズム体験倶楽部 他	平成20年度	—		
	保養型温泉観光の推進	35	健康保養型観光の推進	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 そうべつ観光協会 他	平成20年度	—		
	体験型農業の推進	36	壮瞥町移住体験ツアー募集事業	そうべつくだもの村 NPO法人そうべつ観光協会	平成20年度	—		
農産物など地場産品を活用した魅力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	★37	野菜市の開催	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会 他	平成20年8月～9月の毎週土日	約600名 (延べ来場者)		地場産品の活用については、既存取り組み(缶詰)のほか野菜市が開催されるなど新たな展開も見せている。今後は適切なニーズの把握やそれに応じた販売経路の確保等についての検討が必要。
			「いなかのおもいやり(缶詰)」の販売	NPO法人きもべつWAO	継続展開中	—		
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり		地域資源の発掘を手がかりに検討	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成19年度			エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
			食をテーマにした特産品の開発・地域連携の推進	J8公式カクテル(申請中)を企画	社団法人 千歳青年会議所	平成20年 2月10日(日)	300名	
		12	えにわいいとこどり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成20年10月11日(土)	45名		
	エリア企業との連携による魅力づくり		えにわキャンドルナイト	えにわシーニックプロジェクト	平成20年 1月26日(土)	1500名		
	エリアのきめ細かな情報の発信	38	シーニックナイト2009サイトの開設	シーニックナイト2009実行委員会 他	平成20年12月開設	—		紙媒体の情報媒体は比較的充実しており、ホームページ等のweb情報媒体はしりべしネットとの相互利用による効果が期待されるため、情報共有や役割分担等連携に向けた検討が必要。
		39	ニセコガイドブック「3W NISEKO」発行	国際の会	平成20年12月発行	—		
			エリアのホームページの作成	実施せず	—	—		
	観光コミュニティバスの実験運行	12	えにわいいとこどり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成20年10月11日(土)	45名		エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベント
			支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年度			
			ウェルカム北海道エリア ホームページでのイベント紹介及び活動報告	エリア代表者会議 えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)			

観光振興	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	エリアの周遊の検討		ウエルカム北海道エリア裏街道53次	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度			などにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。
			12	えにわいいとこどり紅葉バスツアー	えにわシーニックプロジェクト	平成20年10月11日(土)	45名	S-2	
				支笏湖シーニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	8月26日(土)、27日(日)、9月9日(土)、10日(日)、10月16日(月)、17日(火)、18日(水)			
		トレジャーハント等の実施		ドライブマップ2007に、地域のクイズを提供	えにわシーニックプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOステージ	平成18年度			
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	マップ・パンフレットの作成	27	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	—		洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』(世界地質遺産)国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。
		物産展の開催	40	第32回そうべつりんご祭りの開催	そうべつくもの村 NPO法人そうべつ観光協会	平成20年10月12日	2,000名		
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信		各種メディアによる情報発信	ゆったリズム体験倶楽部 大達レンジャーズ他	継続中	—		
	地域とのふれあいを大切にした観光の推進	地域の歴史などに基づいたツアーの開催	★41	北のまるしえ	しりべしサミット・ウエルカムプロジェクト実行委員会(協力:ニセコ半諦エリア代表者会議)	平成20年7月5日、6日	—		来訪者や地域ニーズに応じた取り組み(北のまるしえ、ニセコ湯めぐりバス、シーニックデッキ等)が行われ、高い評価を得ている。一方で活動の継続に向け、後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要。
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	★42	エキノコックス公開講座	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会 他	平成20年11月7日	70名		
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催		ニセコ湯めぐりバス	ニセコリゾート観光協会	継続展開中	—		
		シーニックバスの運行		実施せず	—	—	—		
		シーニックデッキ・カフェの設置	43	シーニックカフェ「しろくまカフェ」 シーニックデッキ「北四線」 「小川原脩記念美術館」 シーニックイグルー「国道5号ニセコ運輸前」	ニセコ羊蹄エリア代表者会議認定	平成20年度	—		
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	★44	洞爺湖フォトコンテスト2008	洞爺湖温泉観光協会／環境省 北海道地方環境事務所	平成20年6月15日～平成20年7月22日	50名		洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』(世界地質遺産)国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。
		エコミュージアムガイドブックの発行	45	ホームページ等によるWeb情報媒体を活用した情報提供	洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会 他	平成20年度	—		
		エコミュージアムツアーの企画	46	昭和新山登山学習会	そうべつエコミュージアム友の会	平成20年5月10日	50名		
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	47	「冬のおロフレ峠」雪上体験ツアー	そうべつエコミュージアム友の会	平成21年3月22日	20名		
		エリア人材バンクの設立	48	継続検討中	洞爺湖エリア代表者会議	平成20年度	—		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催		サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖まちづくり機構NEOステージ	サンセットコンサート 平成19年7月28日(土) クリスマスイベント 12月	各200名		

エリア連携によるふれあい観光の推進	ルートを対象としたイベント・ツアーの企画・実施 (シーニックナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)		33	えにわシーニックナイト(全国あかりサミットと共催)	えにわシーニックプロジェクト	平成21年2月7日(土)	3000人	エリアの魅力が感じられる観光地を巡るバスツアーや、特産品をテーマとした広域イベントなどにより、地域の魅力をPRすることができた。今後は、地域連携の充実を図りながら活動の継続を目指すとともに、エリアとしての新たな観光メニューの創出に向けた取り組みや、それらの情報を効果的に発信していく仕組みづくりなどについて検討していく。	
			49	支笏湖 雪あかりの散歩道	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成21年1月30日(金)～2月15日(日)の、土、日、祝日			
				連携による取り組み	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成19年2月15日(水)			
				連携による取り組み	スニイブリーフプロジェクト 社団法人 千歳青年会議所 支笏湖まちづくり機構NEOス	平成18年度			
	特定テーマによるルートプロモーション活動			連携による取り組み					
	シーニックバスツアーの企画・運行		8	国道よごさん(453)キャンペーンの実施	国道よごさんキャンペーン実行委員会	平成20年9月6日	32名		
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画		★50	洞爺湖サミット開催記念洞爺湖周辺地域エコミュージアム・ジオパークツアー	そうべつエコミュージアム友の会	平成20年6月7日～平成20年6月8日	73名		
	イベントの企画・運営		★51	北海道洞爺湖サミット開催記念グッズ販売	(社)洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	—		洞爺湖周辺エコミュージアム構想に加え、平成20年10月に新たに『洞爺湖有珠山ジオパーク』(世界地質遺産)国内候補地に決定したことで、豊かな自然や地質遺産を活用したジオツーリズムなどの普及拡大を通して、北海道洞爺湖サミット開催地としての知名度向上を追い風にしたニューツーリズムの振興が期待される。
	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行	25	「洞爺湖周辺ガイドマップ」の作成	洞爺湖温泉観光協会	平成20年度	—		
		おもてなしキャンペーンの実施	★52	秋の「ちよつとエコ旅」キャンペーン	洞爺湖温泉観光協会	平成20年9月1日～平成20年11月30日	—		
シーニックデッキの設置			実施せず(検討中)	洞爺湖エリア代表者会議	—	—			
人材育成のための研修会などの開催			★53	世界ジオパーク講演会の開催	洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会	平成20年10月21日			
ルート及びエリア全域を対象とした取り組み	ルートを対象としたイベントの企画・実施(シーニックナイト2008～灯りでつなぐ雪のみち～)		54	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2009」	シーニックナイト2009実行委員会 他	平成21年1月31日～2月28日	約400名	S-1	広域連携の取り組みである「シーニックナイト」は参加のしやすいから、エリア内外の各地で自然発生的に開催されるようになり、地域住民や訪れた観光客の評価も高い。
			55	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「シーニックナイト2009」	シーニックナイト2009実行委員会	平成21年1月30日	40名		広域連携の取り組みである「シーニックナイト」は参加しやすいから、エリア内外の各地で自然発生的に開催されるようになり、地域住民や訪れた観光客の評価も高い。
	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進～シーニックの森づくりの推進～		56	エキノコックス駆除活動	NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、京極町景観を考える会、らんこしWAO、NPO法人きもべつWAO 他	平成20年度	約50名	S-4	環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」がエリア全域に拡大しており、今後の広域的な展開に向けた方針や方向性の再検討が必要
			8	国道よごさん(453)キャンペーンでの植樹活動の実施	国道よごさんキャンペーン実行委員会	平成20年9月6日	32名		環境に配慮した取り組みとして「シーニックの森」構想の一つとして、植樹活動を継続中。用地確保と維持管理が課題である。

※表中“★”はH20新規活動

Scenic Night 2009 ～灯りが繋ぐ雪の道

- 【内 容】シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートをキャンドルの灯りでつなぐ“シーニックナイト2009”を今年も開催します。千歳空港から恵庭、支笏湖温泉、洞爺湖温泉、留寿都、喜茂別、京極、倶知安、ニセコ、蘭越、真狩へと結ぶこのイベントは今年で4回目を数えます。地域の皆さんはもちろん、多くの観光客の方々にも参加していただき、雪の壁に小さな横穴を掘ってひとつひとつキャンドルを灯したり、アイスキャンドルやランタンに灯したり、各地で様々な彩りのキャンドルが優しく街を包みます。住宅街、道の駅、旅館街、温泉街、スキー場など人が集まる場所をたくさんのキャンドルで温かく灯す計画です。
- 【日 時】平成21年1月30日（金）～2月28日（土）
- 【場 所】支笏湖温泉街、洞爺湖温泉、真狩温泉、ニセコ綺羅乃湯、ホテル甘露の森、雪トピア会場（倶知安町）、各市街地（恵庭市、喜茂別町、京極町、倶知安町、ニセコ町、蘭越町）、各スキー場（グラン・ヒラフ、東山リゾート、ピレッジ、アンヌプリ、ルスツリゾート）、各道の駅（花ロードえにわ、ニセコビュープラザ、望羊中山、そうべつ情報館 i）
- 【主 催】シーニックナイト2009実行委員会
- 【共 催】支笏洞爺ニセコルート代表者会議
- 【後 援】北海道開発局札幌開発建設部、北海道開発局小樽開発建設部、北海道開発局室蘭開発建設部
- 【協 力】石狩支庁、後志支庁、胆振支庁、（有中）シーニックバイウェイ支援センター、後志観光連盟、千歳市、社団法人千歳観光連盟、恵庭市、恵庭市教育委員会、（社）恵庭観光協会、壮瞥町役場職員親睦会、壮瞥町商工会青年部、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、そうべつエコミュージアム友の会、社団法人洞爺湖温泉観光協会、倶知安観光協会
- 【協 賛】倶知安町、ニセコ町、蘭越町、京極町、喜茂別町、留寿都村、真狩村、ニセコリゾート観光協会、支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議、北海道コカコーラボトリング、NTT DoCoMo、グランヒラフ、ルスツリゾート、日本ハーモニーリゾート、ニセコピレッジ、ホテル甘露の森、トヨタレンタリース札幌 他



ウェルカム北海道エリア



ニセコ羊蹄山エリア



洞爺湖エリア

えにわいいとこどり紅葉バスツアー

【内 容】恵庭市内の見所を、住民ボランティアのガイドがご案内。自然を満喫しながらの公園でのキノコ採りや地元の食材を活かした昼食及び秋の紅葉散策など、地域の資源を再認識できる任期のバスツアー。魅力ある秋の恵庭市に触れられます。

【日 時】平成20年10月11日（土）

【場 所】恵庭市及び周辺 集合場所：JR札幌駅発 JR恵庭駅発

【主 催】えにわシーニックプロジェクト



国道よごさん（453）キャンペーン

【内 容】洞爺湖エリアのシーニックバイウェイ活動団体、壮瞥町のそうべつくだもの村は、壮瞥の果樹農園家が集まってできた団体。多くの果樹園農家は支笏湖と洞爺湖エリアを結ぶ国道453号に面しています。道路清掃事業「秋のよごさん（453）キャンペーン」はゴミ広いをして道路景観を良くすることによって訪れる観光客に快適なドライブを楽しんでもらうことを目的にスタートしました。また、今回も前回同様、シーニックバイウェイ支援センターの協力のもと、カーボンオフセット型ツアーとして、壮瞥町町有地ヘトドマツ30本を植樹した。

【日 時】平成20年9月6日（土）

【場 所】洞爺湖周辺「そうべつ情報感アイ」駐車場集合

【主 催】よごさんキャンペーン実行委員会（そうべつくだもの村他）

【参加人数】120名



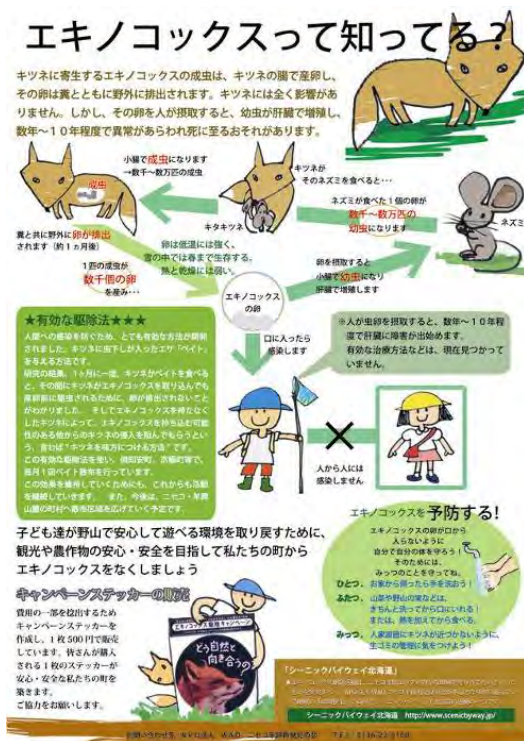
「エキノコックス駆除キャンペーン」

【内 容】北海道の風土病とも言われるエキノコックスが、近年有効な駆除法が開発されました。虫下しが入ったエサをキツネに食べさせキツネの体内に寄生しているエキノコックスの卵を体外に出す方法。偃知安町、京極町、蘭越町等で展開されています。

【日 時】平成20年6月から11月頃まで（キャンペーンは通年）

【場 所】 俱知安町、京極町、蘭越町

【主 催】NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月:2009/3/31
-------------------------------	-----------------------	----------------

活動団体
・NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ ・えにわシーニックプロジェクト ・社団法人 千歳青年会議所

ルート運営体制(活動団体)
●エリア代表者会議の運営 (構成)エリアの各活動団体の代表者により構成 (代表)エリアの代表を1名選出し、支笏洞爺ニセコルート代表(各エリアから1名)を兼任 ・エリア代表 平成20年 泉谷 清 (えにわシーニックプロジェクト) 平成19年 佐藤 哲也 (社団法人 千歳青年会議所) 平成18年 白石 一人 (NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ)

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	エリア運営 (事務局体制)	スケジュール 調整など					会議の企画・運営／キャンペーンの企画・サポート								
	ルート運営代表者 会議								● 10/7	● 11/23	● 12/22	● 1/16	● 2/13	● 3/10	
	エリア 代表者会議							● 9月26日 (第1回エリア) 千歳		● 11月7日 (第2回エリア) 支笏湖			● 2月13日 (第3回エリア) 支笏湖		
	検討会 勉強会など		★ 4月18日 (景観検討 会・花ロード)	★ 5月19日 (景観検討 会・花ロード) ★ 5月30日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)	★ 6月5日・10日 (花と暮らし 展検討会)	★ 7月25日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)			★ 10月1日 ・24日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)		★ 12月29日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)	★ 1月18日・30 日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)	■ 2月4,26日 (景観検討 会・花ロード)	■ 3月5,30日 (景観検討 会・花ロード) ★ 3月9日・28日 (えにわシー ニックナイト 実行委員会)	
参加人数									20	11	20	20	24	20	
				20				20		14			11	12,17	
			21	12	8	10			23		8	15	14	25	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)				報告者:札幌開発建設部						報告年月:2009/3/31					
	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実 施							● 9月26日 (第1回) 千歳						● 3月30日 (第2回) 恵庭	
	三開建連絡会議の 実施(札幌・小樽・室 蘭)								● 10/6	● 11/6					三開建連携による支援 体制の構築
参加人数								20	7	7				18	

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:洞爺湖エリア代表 阿野 裕紀緒	報告年月:2009/3/31
--------------------------	---------------------	----------------

活動団体
社団法人 洞爺湖温泉観光協会、ゆったリズム体験倶楽部、NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク、洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会、そうべつくだもの村、NPO法人そうべつ観光協会、大滝レンジャーズ、そうべつエコミュージアム友の会 (以上8団体)

ルート運営体制(活動団体)
(1)洞爺湖エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の連携が図りやすいように、「洞爺湖エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。 (2)洞爺湖エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議							● 10/7	● 11/23	● 12/22	● 1/16	● 2/13	● 3/10	今年度から3エリア合同のルート運営代表者会議が定例化。ルート内の情報共有のほか口座の開設や代表者の持ち回りなどが決定し、ルート内のコミュニティメール等も新たに作られ、ルートの連携体制が強化されている。
	エリア代表者会議								● 11/5	● 12/22			● 3/10	
	シーニックナイト2009実行委員会									● 12/22	● 1/16	● 2/13		
	シーニックナイト2009										←	1月31日 ~2月28日	→	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2009/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施											● 2/20	←3月10日 ~3月11日→	情報共有の強化、支援体制の構築
	三開建連絡会議の実施(札幌・小樽・室蘭)							● 10/6	● 11/6					三開建連携による支援体制の構築

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリ	報告者:ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2009/3/31
--------------------------	---------------------	----------------

活動団体
共和町商工会青年部、京極町景観を考える会、国際の会、NPO法人きもべつWAO、村づくり研究会、NPO法人しりべつりバーネット、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ニセコまちづくりフォーラム、NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、(株)ニセコリゾート観光協会、らんこしWAO、るすつWAO (以上12団体)

ルート運営体制(活動団体)
(1)ニセコ羊蹄エリア代表者会議 シーニックバイウェイに参加する活動団体の共通意識の醸成やお互いの活動に対する理解を図るために、「ニセコ羊蹄エリア代表者会議」を組織し、エリア内の連携を主として活動を行います。 (2)ニセコ羊蹄エリア代表者会議の運営 【構成】エリア代表者会議は、エリアの各活動団体の代表者により構成します。(各活動団体の代表者の代理人の出席を認める) 【エリア代表者会議の位置づけ】 ・エリア代表者会議は、エリアの運営の決定機関とします。 ・エリアの短期的・長期的運営について議論する機関とします。 ・エリア運営活動計画は、エリア代表者会議で決定します。 【代表】エリアの代表を1名選出し、その一人が支笏洞爺ニセコルート代表(1年交替)を兼任します。 ●ニセコ羊蹄エリア代表:古谷 和之(NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会)

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議							● 10/7	● 11/23	● 12/22	● 1/16	● 2/13	● 3/10	今年度から3エリア合同のルート運営代表者会議が定例化。ルート内の情報共有のほか口座の開設や代表者の持ち回りなどが決定し、ルート内のコミュニティメール等も新たに作られ、ルートの連携体制が強化されている。
	エリア代表者会議						● 9/9						● 3/24	
	シーニックナイト2009実行委員会									● 12/22	● 1/16	● 2/13		
	シーニックナイト2009										←1月31日 ~2月28日			

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2009/3/31
------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施							● 10/30				←2月24日 ~2月27日		情報共有の強化、支援体制の構築
	三開建連絡会議の実施(札幌・小樽・室蘭)							● 10/6	● 11/6					三開建連携による支援体制の構築

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)		報告者: 札幌開発建設部		報告年月: 2009/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成20年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	来訪者をもてなすウエルカムルートの創出	・道路情報板を活用した、「シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPR	平成18年度～平成20年度	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	・支笏洞爺ニセコルート内の国道において、道路情報版を活用し、「シーニックバイウェイ支笏洞爺ニセコルート」のPRを実施		57
		・第59回支笏湖湖水まつりにおけるシーニックパネル展の開催	平成20年7月5日～6日	・札幌開発建設部	・J8サミット千歳支笏湖期間中に合わせ、支笏湖湖水まつり会場において、シーニックバイウェイ関連のパネルを展示。来場者へシーニックバイウェイ北海道のルート概要や、環境への取組の周知を図った。		58
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・「道道恵庭岳公園線植えるカム花ロード」の主催及び協力	平成20年5月31日	・恵庭市	・昨年に引き続き、活動団体、地域住民、千歳土木現業所と連携し、恵庭インターチェンジより市街地に向かい中央分岐帯の植樹及び、雑草除去を主催 ・花苗等、物資の準備、運営を行う。	治道景観の整備(花植え、清掃)にかかる活動に対する行政の協力体制が確立してきており、円滑に実施できた。今後、各行政機関連携のもと、活動団体の意向に対する調整や支援メニューの提案など、密な連携が望まれる。	10
		・「えにわ湖慈しみフェスタ」のゴミの処理及び、運営支援	平成20年7月26日	・恵庭市	・道道恵庭岳公園線(漁川ダム周辺より、国道453号との交流地点までの清掃活動及び、植栽活動において、ゴミ処理及び、運営を支援。		21
		・「453・530(ヨゴサン・ゴミゼロ)キャンペーン」のゴミ処理、清掃用具の提供等	平成20年5月30日、9月30日	・千歳市	・ボランティア・サポートプログラムに(VSP)により、ゴミ処理を支援 ・VSP手続きの他、活動運営等をサポート ・人的支援として、清掃活動に参加		8
				・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・ボランティア・サポートプログラムを導入、清掃用具を提供。 ・人的支援として、清掃活動に参加		
				・支笏湖自然保護官事務所	・人的支援として、清掃活動に参加 ・今後、環境の日や自然公園クリーンデイとの清掃活動の連携も考えられる		
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・「千歳ウエルカム花ロードver.6」の共催及び運営支援	平成20年5月20日	・千歳市	・平成19年度は主催者として参加。 ・受付窓口として、市内全小学校への取り組み周知、及び、一般参加者の募集等を担当。 ・小学校(教育委員会)との連携や、フラワーマスター等の関係機関との調整。 ・地域協働プロジェクトとして、間取り組みを共催。 ・地域活動団体と連携し、小学校と連携した植栽、越冬チャレンジの取り組みを実施。 ・越冬場所の提供(千歳道路事務所花壇)		11
				・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・ボランティアサポートプログラムにより、国道36号の植樹マスへの植栽を実施。 ・道道千歳インター線において、植栽活動を実施。一般参加の呼びかけとして、ホームページへチラシを掲載。 ・植栽後の維持管理が課題(小学生や地域との連携を考えたいが、安全面の問題があり難しい。現在も、月1回実施しており、行政側の対応としては限界という状況) ・次年度は、千歳の関係者が集まり準備会として行っていくなど、早い段階での準備が必要。(恵庭のノウハウ等、他の地区も取り込んだ方がよいとなれば、その時点で輪を広げていけば良い) ・今年度、建設業関係者の参加が多かったため、次年度以降は一般参加者を増やす取組が必要。		
		・「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」	平成17年度～平成19年度	・石狩森林管理署	・セブンイレブンみどりの基金と、北海道森林管理局・石狩森林管理署が協定を結び、台風被害にあった支笏湖周辺の森林を再生するため、行政・環境市民団体・企業・地域団体などから成る「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり実行委員会」を設立。 ・市民が「森の育て親」になって100haの大地に10万本の植樹に協働して取り組む。		
	エリアの景観ルールづくり	・恵庭市において、景観形成基本計画を策定	平成19年度～平成20年度	・恵庭市	・平成19年度に策定した景観形成基本計画について、平成20年度は広報誌(7月号)にて特集を組むなどPR活動を実施した。		59
		・国道36号 景観診断	平成15年度～平成17年度	・札幌開発建設部	・シーニックバイウェイの基幹ルートとして指定されている、国道36号において、住民参加による景観診断を実施、平成17年度までに対象となっている区間について実施を終えた。		
	看板や広告物の規制の検討	・シーニックバイウェイルートにおいて、道路標識の集約を試行	平成18年度～平成19年度	・札幌開発建設部 千歳道路事務所	・国道453号において、視認性と景観の向上を目的とし、道路標識の集約化を試行。		

観光振興	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり		平成19年度	・恵庭市 ・千歳市	・活動団体が主催する、近隣地域で作られている食を中心とした物産店「輪っしょい千歳」を後援。	地域活動への後援体制として、人的協力（活動参加や連携協力）や、情報発信（HPや広報誌への掲載協力）は、継続実施されている状況にある。また、行政からの支援メニューの一つとして、行政連絡担当者会議において集約された助成金メニュー等を活動団体へ都度情報提供を行っている。	28
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート	平成19年度	・千歳市	・人的支援として、運営を補助		
		「えにわの花めぐり」プレミアム・ガーデンツアー	平成20年6月28日・29日	・恵庭市	・活動団体が主催する、ガーデン散策を楽しむバスツアーに協力。		
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・ホームページによる、シーニックバイウェイ北海道及び、エリア活動のPR	平成19～20年度	・千歳市	・千歳市ホームページ リンク集ページ内「観光」カテゴリにおいて、シーニックバイウェイ北海道へのリンクを設置。	60	
			平成19～20年度	・北海道札幌土木現業所千歳出張所	・札幌土木現業所ホームページトップページにおいて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載し、活動の周知に協力。		
			平成19～20年度	・石狩支庁	・トップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。 ・石狩管内観光ガイドマップへのシーニック情報掲載（マップにエリアを記載、シーニックバイウェイ北海道のHPアドレスなどの情報を掲載）		
			平成19～20年度	・札幌運輸支局	・札幌運輸支局ホームページトップページにて、シーニックバイウェイ北海道のバナーを掲載。		
			平成19年度	・札幌開発建設部千歳道路事務所	・札幌開発建設部 千歳道路事務所ホームページの改訂にともない、シーニックバイウェイ及びエリアの活動を周知するページを開設。		
	ルート連携によるふれあい観光の推進	・「シーニックナイト2009～灯りが繋ぐ雪の道」	平成20年度	・千歳市	・千歳市ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。	54 55	
			平成20年度	・北海道札幌土木現業所千歳出張所	・札幌土木現業所ホームページにて、ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。		
			平成20年度	・石狩支庁	・道庁職員専用グループウェア内にて、「シーニックナイト」灯りが繋ぐ雪の道～」の活動周知のための情報を掲載。		
		・「シーニックナイト2009～灯りが繋ぐ雪の道」への後援及び活動PR ・除雪協力	平成21年1月30日～2月28日	・札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	・ルート連携活動「シーニックナイト～灯りが繋ぐ雪の道～」において、取り組みの「後援」及びポスター・チラシの配布など活動のPRを支援。 ・国道36号（恵庭バイパス）における除雪協力 ・職員有志が、個人サポーターとなり、取り組みを応援。		
地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	・「裏街道53次事業」地域の魅力発掘アンケートへの協力	平成18年度	・札幌開発建設部千歳道路事務所	・昨年に引き続き、ウエルカム北海道エリア内の地域資源発掘アンケートをホームページへ掲載、調査への協力を呼びかけるとともに、職員有志により、アンケート調査への記入協力。	12 33	当該エリアでは地域資源の発掘や有効活用について検討を進めているところだが、さらなる発展に向けて、行政や地域活動団体の垣根を越えた意見交換や交流の場を設け地域の魅力や課題を共有することが望ましい。地域の魅力ポイントを巡るバスツアーやエリアの周遊ルートづくりなどをきっかけとし、今後も協力を
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	・恵庭いいとこどりツアーの記念植樹の準備協力及び周知	平成20年10月11日	・恵庭市	・いいとこどりツアーでの植栽準備等を協力 ・市広報誌にツアーの案内を掲載 ・市外からの参加が多く、毎年満員の大人気のツアーとなっている。 ・活動団体のみでの運営では、希望者が多くても規模の拡大は難しい		
	交流と連携による地域づくりの推進	恵庭シーニックナイト・全国あかりサミットの周知	平成21年2月7日	・恵庭市	・恵庭市広報誌において、恵庭シーニックナイト及び全国あかりサミットの取り組みの周知に協力。		

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:室蘭開発建設部		報告年月:2009/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成20年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔に面した国道230号沿いでの花壇整備に対するVSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=60m)	平成19年6月、10月	担当事務所:有珠復旧事務所 協力自治体:洞爺湖町	活動内容:花植え・管理・除草・清掃 課題:活動継続に向けた仕組みの検討が必要。		
	温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉イルミネーショントンネル	平成20年12月20日～平成21年2月28日	洞爺湖町	洞爺湖温泉にぎわい広場(洞爺湖万世閣向かい)に延長約70mのトンネルを設置し、約30万個の電球で飾る。	当該地域では、国道よごさんキャンペーンやVSP活動など清掃活動や花いっぱい活動や景観阻害看板の調査・撤去、民間看板の集約の他、シーニックバイウェイ洞爺湖エリア代表者会議では、洞爺湖地域の景観づくりに関する検討等が活発に行われている。これら地域住民の「思い」を各関係行政機関が「後押しする・繋げる」などの協働型マネジメントの取り組みにシフトしていくことが今後必要であると思われる。	61
	果樹園などの田園景観を整える	国道よごさん(453)キャンペーンへの支援	平成20年9月6日	室蘭開発建設部、有珠復旧事務所(VSP等の支援、活動参加・協力)、室蘭土現(作業車の提供)、洞爺湖町	持続可能な運営体制の構築に向け、参加呼びかけ等人的支援による協力体制の強化を図った。活動を継続していくことで、各機関ごとの役割分担が明確になってきておりスムーズな運営につながっている。		8
	エリアの景観ルールづくり	洞爺湖エリア景観づくり方針の検討(エリア代表者会議と併用開催)	平成20年度	洞爺湖エリア行政連絡会議関係機関	洞爺湖エリア代表者会議との協働によるエリア全体の景観づくりに関する検討を実施。各関係行政機関がどのような形で関わるか等、個別ヒアリングの実施により聞き取りも行っている。		62
	看板やノボリの撤去						63
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	中島周辺の清掃活動	平成20年度	環境省 洞爺湖自然保護官事務所	国立公園や国指定鳥獣保護区において、自然や社会状況を熟知した地元住民等を雇用し、山岳地の清掃、施設補修、特定外来生物の駆除等を行うことで、国立公園管理のグレードアップを図ることを目的として中島周辺の清掃活動の他、ニホンザリガニ生息状況調査や洞爺湖内の水草の調査等を実施している。		64
	エリアの産業の活性化	西胆振地域づくりビジョン懇談会の開催	平成20年度	胆振支庁	西胆振圏域の将来の発展に繋がるまちづくりのあり方として、「西胆振は一つ」のもと、6つのまちが一緒になった場合に各市町の特性を活かし、どんなまちづくりが可能であるかなど、住民がまちの将来について考える懇談会を3回開催(8/6,12/1,2/10)。	取り組みの継続に向けた地域活動団体と連携した適切な維持管理体制の構築が必要。	65
	エリアの人材育成	洞爺湖有珠火山マイスター制度の推進	平成20年度	胆振支庁	平成20年度は、養成講座や認定審査の実施など、この制度に基づく試行・運用を行い、さらに検討を重ねてきた。		31
観光振興	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	道路情報板によるルート名(支笏洞爺ニセコルート)の表示	平成20年度(継続展開)	室蘭開発建設部	一昨年度から継続して道路情報板を活用してルート名を表示したことで、地域活動団体の方々から「活動に対するモチベーションが上がった」と高評価を得ているとともに地域住民への浸透も少しずつ図られている。	当該管内では、「洞爺湖周辺地域エコミュージアム推進協議会」を中心に自治体間や関係行政機関の連携が積極的	66
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	世界ジオパーク講演会の開催	平成20年10月21日	洞爺湖有珠山ジオパーク科学検討委員会	エコミュージアムの推進とともにジオパークの認証に必要な環境整備について考え、地域資源を活かした新たな圏域の創造等を目的に次のとおり講演会を開催した。		★53
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	「オールいぶりフェアinTOYA」の開催	平成20年7月1日～平成20年7月10日	胆振管内観光・物産展実行委員会 胆振支庁 商工労働観光課	洞爺湖を来訪する観光客はじめ、北海道洞爺湖サミット参加国関係者やプレス関係者等に対して、胆振管内の食、観光、自然、文化等の魅力を発信するとともに、管内のイメージアップを図ることを目的として、各自治体の観光PRのほか、特産品の試食、体験観光の実演など多彩なメニューを提供。	に図られている。行政としては行政連絡会議や各種取り組みにおいて参加協力及び人的支援等による連携が図られている。	67
	エリアの資源を活用した複合ツアーの企画	カーボンオフセット型ツアーでの植樹用地提供(国道よごさんキャンペーン)	平成20年9月6日	壮瞥町 室蘭開発建設部	昨年に引き続き、札幌圏のツアー参加者32名を対象としてカーボンオフセット型バスツアーを実施。植樹用地として、壮瞥町町有地を提供。その後のメンテナンスについても町が主体となり維持管理を行う。		8
その他	「北海道洞爺湖サミット」に向けた取り組みの実施	「ぐるっと洞爺クリーンアップ作戦」の実施	平成20年4月20日～平成20年6月22日	北海道洞爺湖サミット胆振地域推進会議	サミットの成功を祈念するとともに、国内外のお客様をきれいな環境でお迎えするために、胆振地域でも、次のとおり「北海道洞爺湖サミットクリーンアップ作戦」を展開。地元の地域住民をはじめ、札幌圏や他の地域の皆様にご協力いただき、クリーンアップ運動を展開した。	サミット開催に向けて官民協働となって各種おもてなしプロジェクトが展開され、成果をあげた。サミット終了後も無理のかけない適切な内容での活動の継続が必要である。	★68
		「ガイアナイト」の実施	平成20年7月7日	胆振支庁	北海道洞爺湖サミット道民会議が道民に対して広く呼び掛けている、環境プロジェクトの一環となる「ガイアナイト」を胆振支庁でも実施。ガイアナイトへの関心を喚起し参加促進を図るため、参加表明受付デスクを胆振支庁内に設置し、参加希望の方に無料でローソクを配布した。		★69
		いぶり高校生環境サミットの開催	平成20年10月25日、26日	胆振支庁、洞爺湖町	洞爺湖町において胆振支庁管内の高校生11校23名が集まり、昨年10月に宣言された「高校生サミット宣言」の意義を再確認し、今後、どのような行動に取り組むかを話し合い、次世代の高校生たちへ引き継ぐとともに、地域活動として広げていくことを目的として「いぶり高校生環境サミット」を開催。		★70

※表中「★」はH20新規活動

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)		報告者:小樽開発建設部		報告年月:2009/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成20年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観づくり	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討	平成20年度	羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会(会長:蘭越町長、副会長:倶知安町長)後志支庁	4つの部会(羊蹄の日の制定及び活動検討部会、景観法検討部会、案内標識検討部会、水辺景観づくり部会)に分かれて地域住民と協働で具体的な検討を進めている。また、今年度で広域景観づくり推進地域の指定3周年を迎えるにあたり「羊蹄山麓広域景観フォーラム2009」を開催。		71
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	町民ボランティアの集い「まちをきれいにしよう」	平成20年5月	京極町	ゴミや空き缶を拾い集め、きれいなまちづくりを行うことを目的として、毎年5月に市街地の清掃活動を実施。	7か町村の連携による「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」での検討を中心に各種情報共有・情報交換も行われている。	72
			「フラワーロード事業」の実施	平成20年6月1日	真狩村	継続の重要性を感じており、次年度以降も継続展開を予定している。しかし、球根の輸送代(オランダより輸入)や管理費や肥料代等が高いことが課題である。	
		尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	「尻別川クリーン作戦」の実施	平成20年6月21日	蘭越町 小樽開発建設部 後志支庁	シーニック活動団体である、しりべつリバーネットが主催となり、清流日本一の尻別川の清らかな流れを守ることが流域全体の自然を大切にすることの和を広げることが目標として、カヌー等を使って清掃。作業終了後は地域との交流を図る交流会を実施。	
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	雪トピアフェスティバル2009(実行委員会構成メンバーとして参加)	平成21年2月21日	倶知安町	町と町民有志による協賛で開催し、自衛隊も全面的に協力してくれている。運営は雪トピアフェスティバル実行委員会。事務局は倶知安町役場商工観光課。今年度は国道393号の開通をきっかけとして、赤井川村との交流も発生した。また、シーニックナイトとも連携したイベントとなり、キャンドルを介した交流が生じて良い取り組みになった。	広域連携の取り組みである「シーニックナイト」や環境に配慮した取り組みとして「エキノコックス駆除活動」が各自治体にも定着してきている。	74
	地域コミュニティを大切にしたい地域づくりの推進	「シーニックナイト2009」への協力・参加	平成21年1月31日～2月28日	ニセコ羊蹄7か町村 小樽開発建設部 小樽開発建設部倶知安道路事務所	ニセコ羊蹄エリアにおいて活動団体が存在する自治体では、地域活動団体が主体となって企画運営を行い、行政は人的支援や広報支援によるサポートを行っている。		54
	地域の人材の育成と活用	道の駅「望羊中山」における観光業務委託(シーニックバイウェイプラザin中山峠の管理運営、各種情報発信など)	平成20年度	喜茂別町	商工会からNPO法人きもべつWAOIに対して観光業務委託をしている。主な内容としては、観光全般の支援、中山峠のトイレ清掃、iセンターでの情報発信等。		75
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	北のまるしえ	平成20年7月5日、6日		【主催】しりべしサミット・ウェルカムプロジェクト実行委員会【協力】後志支庁サミット推進会議、北海道洞爺湖サミット道民会議		76
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしシステム事業との連携(HP等の媒体活用による情報受発信)	平成20年度	後志支庁、 小樽開発建設部	「しりべしシステム」では、地域だよりとして各自治体からのイベント情報等を随時提供している。また、シーニックバイウェイニセコ羊蹄エリアのサイトリニューアルについても、おまめ景観ポイントやシーニックイベント情報等の提供を検討中。	ほとんどの自治体において、地域活動団体への金銭的な支援は直接できないが、自主財源を確保するための情報提供等は適宜行われている。	77
	地域のとのふれあいを大切にしたい観光の推進	国道393号の愛称公募	平成20年度	国道393号愛称募集委員会	平成20年12月4日に赤井川村役場で開催された国道393号(小樽市～赤井川村～倶知安町)を結ぶ約60kmの幹線道路)愛称募集委員会での選考・投票の結果、国道393号の愛称は「メープル街道393」と決定。沿線にイタヤカエデをはじめとするカエデ類が多く植生し、秋の紅葉時期には葉が黄色色になり風景が見事であること、カナダの「メープル街道」に対抗した「日本のメープル街道」として名乗ることの効果などが選定の理由となった。		78
その他	エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進	エキノコックス駆除に向けた調査等	平成20年度	倶知安町、蘭越町、京極町、ニセコ町、喜茂別町	ニセコ羊蹄地域が国際的な観光地へ発展するための環境整備のひとつとして、人間と野生動物が安全に共存できる状況をつくるための生態系修復の試み。今年度は新たに喜茂別町及びニセコ町へエリアを拡大展開し、発生されたキツネのフンに含まれるエキノコックスの抗原(排泄物)の有無に基づいて発生率を求めた。エリア代表者会議、及び行政連絡会議においても周知・協力体制の構築を図っており、エリア全体の取り組みとしての展開につながることを期待する。	エキノコックス駆除活動については、羊蹄山麓エリアの5自治体(蘭越、ニセコ、喜茂別、京極、倶知安)にて予算付けがされるなど、地域全体の取り組みとして認知されてきた。	★42
	シーニックバイウェイの地域内外への浸透に向けた取り組みの推進	ルートサインの試行設置による効果検証	平成20年度	小樽開発建設部	ニセコ羊蹄エリアを訪れる旅行者および地域住民における同エリアがシーニックバイウェイのルートであることの認識度向上のため、数種類のサイン案を試行的に設置し、アンケート等による効果把握を経て、詳細な試行設置方針を決定する。	シーニックバイウェイ北海道の浸透についても、地域活動団体等とうまく連携を図りながら活動を展開しているが多く、倶知安町では総合計画にもシーニックバイウェイ活動の推進が位置づけられている。	★79
	「北海道洞爺湖サミット」に向けた取り組みの実施	おもてなしクリーンアップ運動の連携事業(しりべしクリーン作戦)	平成20年5月23日	留寿都村、喜茂別町、後志支庁	サミットを通じて、管内を訪れる皆様を、ゴミのない綺麗な沿道でお迎えするために、国道230号で隣接する喜茂別町、留寿都村の住民・関係団体、北海道洞爺湖サミット羊蹄山麓地域安全協力会、(社)北海道産業廃棄物協会後志支部などの協賛の一協力を得て実施。当日は、留寿都村・喜茂別町あわせて、300名以上の参加者により45リットル2のみ袋、約50袋分のゴミを回収した。	サミット開催に向けて官民協働となって各種おもてなしプロジェクトが展開され、成果をあげた。サミット終了後も無理のかからない適切な内容での活動の継続が必要である。	★80
	花いっぱいでお出迎えプロジェクト(喜茂別町・留寿都村連携)	平成20年6月1日	留寿都村、喜茂別町、小樽開発建設部倶知安道路事務所	留寿都村の参加者が一緒に作業をしながら交流が育まれた。また前日には、留寿都村高校の生徒たちのボランティアで、道の駅や赤い靴公園などに花が植えられた。		★5	
	花でお出迎えinルズツふるさと公園事業	平成20年6月8日	留寿都村	ルズツふるさと公園フラワー園に、サミット参加国の花や木を植樹。植えた花木は、イタリア:ツツジ、イギリス:イヌバラ、ドイツ:ヤグルマ草、ロシア:ヒマワリ、フランス:ユリ、アメリカ:オダマキ、日本:桜、カナダ:カエデ		★81	

※表中“★”はH20新規活動

5. 平成19年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:支笏洞爺ニセコルート代表 泉谷 清	報告年月:2009/3/31
------------------	-----------------------	----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	●人材育成の取組 ・次世代への人材育成を目的とし、シーニックナイト2009の取組について、参加した小学生や教育機関等へのアンケート調査を行った。今後の連携や参画の拡大への課題を抽出し、次年度に向け勉強会を4回行った。 ・シーニックナイト2009をきっかけに、エリア個別活動から、ルート全体の活動としての認識共有や実施体制の連携が強化された。また、複数回にわたる勉強会やルート会議の開催により、3エリアが顔を合わせて議論・交流する機会が増えたほか、他エリアへ足を運び活動を見学することで新たな発見や交流の輪が広がる良いきっかけとなった。 ●地域へのルート活動の更なる浸透 ・支笏洞爺ニセコルートを訪れる来訪者や地域住民に対して、シーニックバイウェイ北海道の指定ルートであることを認識してもらい、長期間人々の記憶に残り愛されるようなルートのロゴマーク案の作成を目的とし、ルート内で検討会を行った。ルートにある地域資源などをヒントに、目的・用途に合わせ数パターン案が出されたが、引き続き時間をかけて熟考していくこととしている。 ・各地域団体によりさまざまな取り組みが行われており、活動を継続することで少しずつ取組の幅が広がり、善意で手伝ってくれる人が増えている。また比較的行政機関との連携も積極的に図られている。一方で、後継者や人材の不足や地域内への活動周知徹底、運営資金の捻出が困難などといった課題もあげられており、今後のさらなる検討が必要である。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部、小樽開発建設部、室蘭開発建設部	報告年月:2009/3/31
------------------	-----------------------------	----------------

平成19年度活動報告への助言	平成20年度 状況報告	備考
・地域へのルート活動の更なる浸透や、人材育成の取組の充実を期待する。	ルート活動の浸透に向け、行政連絡会議の場を活用した情報提供や情報共有の徹底を図るとともに、個別ヒアリングを実施し、自治体の広報誌等を活用した地域への周知を図るなど連携体制を構築している。また、人材育成としては、地域活動団体の支援として、活動への参加や助成金情報の提供等による人的支援及び事務局補助として各関係行政職員が積極的に関わるようになってきている。 ・円滑な活動事業の推進については、内容如何により、親会(推進協議会)レベルでの調整が必要と思われる案件がある。今後も各機関の連携を進めながらルート活動の支援に取り組んでいきたい。 【ウェルカム北海道】 ・過年度に引き続き、行政連携による情報発信・人的支援の定着化が見られた。 ・ルート活動の浸透については、まずは各機関が有するネットワークを適宜活用した形での情報発信(グループウェア内の情報提供等)により取り組んでいるが、シーニックバイウェイ北海道制度の認知度向上がさらに必要と思われる。 【洞爺湖エリア】 ・洞爺湖エリアを訪れる旅行者および地域住民に対して、同エリアがシーニックバイウェイのルートであ	